

第10号

2017年10月25日

となみ 市議会だより

Contents

●特集

さらなる議会改革への取り組み
～議会基本条例の制定に向けて～ 2

●9月定例会

代表質問 3

一般質問 3

●定例会報告 9

●常任委員会報告 10、11

●常任委員会行政視察報告 11

●12月定例会の日程等 12

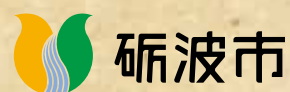


災害時に実効性のある防災対策を!

8月20日 砺波市防災デー／砺波市総合防災訓練



開かれた議会を目指して
9月定例会



～庄川と散居が織りなす花と緑のまち～
もっと元気 ほっと安心 ずっと幸せ “やっぱり砺波”



議会改革特別委員会 構成委員

委員長	山森 文夫	副委員長	川辺 一彦
委員	有若 隆、雨池 弘之、堺 武夫、島崎 清孝、嶋村 信之		
オブザーバー	今藤 久之 議長		

議会改革特別委員会 これまでの活動の経過



- 第1回 委員協議会 (6月5日)
・今後のスケジュールなど
- 第2回 委員協議会 (6月14日)
・議会改革研修会の開催検討など
- 第3回 委員協議会 (7月4日)
・先進地視察の実施検討など
- 議員研修会 (7月14日)
・「議会基本条例の意義と課題」



講師: 山梨学院
大学教授
江藤俊昭氏

- 第1回 委員会 (7月21日)
・議員研修会受講後の意見交換
- 第4回 委員協議会 (7月31日)
・白山市議会
行政視察
「議会改革の
取組みについて」



- 第2回 委員会 (8月10日)
・「開かれた議会」をテーマに自由討議
- 第3回 委員会 (8月28日)
・現時点で10の大項目を決定
・大項目1～4について自由討議
- 全員協議会への経過報告 (9月1日)
- 第4回 委員会 (9月6日)
・大項目5～10について自由討議
- 第5回 委員会 (9月21日)
・議会基本条例 条項等の検討スタート

●の委員会は公開により実施しました。

※委員会は傍聴できますので、お気軽に足をお運びください。(日程は随時ホームページに掲載します。)

砺波市議会では、より市民に開かれた議会改革を進めるため、今年5月に「議会改革特別委員会」を設置し、議会基本条例の制定や議会報告会の開催に向けた取組みについての検討を重ねています。

議会基本条例については、平成31年3月までの制定を目指し、条例に盛り込む「10の大項目」を決定しました。

議会基本条例に盛り込む 「10の大項目」



1	総則
2	活動原則
3	開かれた議会
4	監視する議会
5	政策提案する議会
6	政務活動費
7	緊急事態への対応
8	体制整備
9	政治倫理等
10	補則

ご意見等をお寄せください!

Eメールやファックスで議会改革へのご意見等をお寄せください。

電話: 33-1139 ファックス: 33-6850

Eメール: giji@city.tonami.lg.jp



さらなる議会改革への取組み 議会基本条例の制定に向けて



稲垣 修 議員
(自由民主党砺波市議会議員会)

富山県の新しい総合計画における地域区分見直しについて

県が策定を進めている新しい総合計画では、現在の4区分を、新川、富山、県西部の3地域の区分とする案が示されている。砺波・高岡両地域はこれまでどおり区分して計画策定されるべきと考えるが市長の考えを問う。

夏野市長 県が区分の案を示した理由のひとつに、県内3つの新幹線駅の利用範囲と概ね同じにする考えがあるが、総合計画は行政運営の総合的指針であり、性質が異なると考えている。

もうひとつの理由として、県西部6市で「とやま呉西圏域連携中枢都市圏」が形成されたこともあげているが、同圏域の連携事業は、連携効果が見込まれる一部の事業であり、この形成を理由に1つの区域とするには無理がある。

また、砺波地域と高岡地域では、ごみ・消防・介護等の広域行政が分かれており、医療・教育・農林・土木などの県の各分野の事業、さらに、電力・通信などの企業活動に至るまで、現に区域が異なっており、社会的にも現実に沿っていない。

加えて、富山県は古くから礪波郡、射水郡、婦負郡、新川郡の4郡だった背景もあり、長い歴史の中で、文化、民俗、気質等が、各地域で育まれている。

仮に県内が3区分になれば、県西部地域内で国の機関や県の出先機関の縮小・統合へつながることも懸念され、行政サービスの低下はまぬがれない。

これらのことから、県の新たな総合計画における地域区分は、現行の計画同様4つとしたうえで、県西部の連携を加筆する形が望ましいと考えており、皆さんとともに幅広く県に対し強く働きかけたいと考えている。

一般質問



雨池 弘之 議員

がん検診受診率の向上に向けた対策について

検診率向上に向けての取組みについて問う

齋藤福祉市民部長 国が準備を進めている、「第3次がん対策推進基本計画(案)」において、がん検診率の向上に関する施策として、検診手続きの簡素化、効果的な受診勧奨の実施、職域でがん検診を受けられない方が市町村で受けられるように連携する。また、がん検診と特定健診の同時実施や女性が受診しやすい環境整備などが計画(案)に示されている。

そこで、本市において今年度から、胃がん、結核・肺がん、大腸がんの検診案内をA3判の一体型として大きくし、当日の持ち物や注意事項等を項目ごとに分けて記載することで受診者にもわかりやすいように変更した。

さらに、未受診者への再通知については、未受診の期間や年齢を考慮して、勤めている人には、休日検診を案内するなど、対象者に合わせ受診しやすいよう工夫している。また、ヘルスボランティアの皆さんによる地域のネットワークを生かし、知り合いの方へ声をかけを行う活動のほか、出前講座等で各地区や各種団体へ出向く健康教育では、早期発見、早期治療により、がんは治る病気であり、そのためがん検診を毎年受けることが大切であることの周知を図り、がん検診の受診勧奨を推進すること、がん検診率の向上を図っていく。



がん検診受診案内

【その他の質問】 がん患者の就労支援等、受動喫煙対策、子どもの貧困対策など



山本 篤史
議員

(分割質問分割答弁方式)

適正な職員数について

行政サービスを適切に行うために必要な職員数について問う。

齊藤副市長 総務省の調査によると、本市の職員数は類似団体と比較し、民生部門では公立の保育所が他市より多いため、保育士の数が影響し38人多い。一方、総務企画部門で47人、衛生部門で26人、土木部門で12人、農林部門で11人少ない。

これは合併以来、定員適正化計画の下に職員数削減に努めてきた結果であり、行財政改革の一役を担ってきた。しかし、多様化・高度化する市民ニーズに対応するためにも、業務量増加部署は職員の増員も必要であると考えている。今後も各課の業務量を的確に把握し、より効率的な事務事業の執行を図りながら適正な職員数の確保に努める。

ダブルケア問題について

晩婚化・高齢化に伴い、育児・介護の両立「ダブルケア」が社会問題となりつつあるが、どのように考えているか問う。

齋藤福祉市民部長 介護や医療は「地域包括支援センター」、出産や子育ては「子育て支援センター」がそれぞれ中心となり、対象者の時間経過と世代を超えて、その家庭全体を包括的に切れ目なく支援をするため連携している。働き盛りの世代が育児・介護・仕事の全てを両立できるために個別性を尊重しつつ、縦割り行政に陥らせないよう世代・地域を越えた横断的な支援体制の充実に努める。



【その他の質問】 獅子舞マップ、イクボス宣言、となみっ子宝券交付事業など



堺 武夫
議員

(一問一答方式)

砺波の実態に即した公共交通の実現について

散居における交通弱者の移動手段をどのように確保していく考えか。

夏野市長 これからの高齢者は運転免許証を取得されている割合が高く、元気な間は自分で運転したいと考える方が増えていることから、現状のまま市営バスを運行しても、利用者は減少することが予想される。

砺波市全体を考えると、出町や庄川などの市街地化している地域や、幹線道路沿いの地域では、市営バス運行の方が利便性や時間の正確性など、輸送効率が高い。

一方、農村部においては、元々自家用車への依存率が高く、必要に応じて利用するデマンド交通が有効と考える。
今のところ、定期路線バスと

デマンド交通の2つの併用が適していると考えている。

デマンドタクシーは、ドアツードアや拠点性を持った利用もできるが、デマンド交通が全てを解決するというものでもないと思っている。

デマンドタクシーとは何か知らない人もいるため、しっかりと広報をする必要があると考えている。民生委員や地域の方々に協力して貰いながら、まず、使っていたくよう努めたい。

今回導入するデマンドタクシーは実証実験運行の利用状況や利用者の声を聞きながら、庄東と雄神の状況を多角的に分析し、本格導入につなげていく。



実証実験運転中のデマンドタクシー

【その他の質問】 下水道基本計画の見直し・次期下水道事業中期経営計画の策定指針



有若 隆
議員

(一問一答方式)

消防団員の報酬・費用弁償(出勤手当)の処遇改善について

消防団員に対する報酬及び費用弁償額の改正を検討すべき時期が来ていることについて問う。

今井企画総務部長 消防団員の職務報酬については、平成24年4月の条例改正により職務報酬を引き上げているが、費用弁償については、合併以来据え置きとしている。報酬・費用弁償額が、県内他市と比較して特別低いという状況ではないため、今後、他市の動向や団員の確保状況に配慮しながら、必要であれば見直しを検討していきたい。

消防団員の定年延長について

消防基本団員の定年の引き上げを検討すべきことについて問う。

今井企画総務部長 国では、高

齢化が進展している社会情勢に鑑み、定年の引き上げや定年制度の撤廃によって団員を確保する方策が示されている。

本市の消防団員の定年は、团长・副团长及び分团长が65歳でその他の団員が60歳となっており、県内では比較的低い年齢となっている。今後、消防団の意見も伺い、検討していきたい。



日々鍛錬を重ねる消防団員

【その他の質問】

消防団員の現状を踏まえ基本団員や機能別団員確保に向けた対策、応援の店事業の取組み、協力事業所の加入啓発、震災対応マニュアルの地域への周知、消防操法大会への全分団の参加など



開田 哲弘
議員

(分割質問分割答弁方式)

防災士の育成について

女性防災士を含めた、今後の防災士の育成計画について問う。

今井企画総務部長 平成29年8月末現在、市内には112名の防災士が登録されており、人口1万人あたり23人と県内市町村では3番目に多い。うち女性防災士は3名で、その割合は約2.7%と全国の約14%と比較すると大変低い状況である。避難所での乳幼児や妊婦への対応、着替えや授乳場所の確保など、女性防災士ならではの視点を日頃から取り入れることにより、これまで以上に避難者に配慮した防災・減災活動が可能と考えている。地区には複数の女性防災士の配置が必要と考えており、来年度さらに女性防災士1名の増員に向けた支援ができないか前向きに検討する。

市道の管理について

歩車道境界ブロックが設置された箇所の除草について問う。

喜田建設水道部長 市道は市民生活に最も重要な身近な走路であり、安全な通行確保と通行空間を良好に保つための草刈等は管理業務として重要である。予めの計画箇所のほか、道路パトロールや道路利用者からの情報に基づき、状況を確認したうえで除草作業を実施している。幹線市道のほか、交差点やカーブなど事故の発生が懸念される箇所や植樹帯について優先的に実施している。歩車道境界ブロック付近には土砂が堆積し雑草が繁茂する区間では、まず土砂の排出が必要で、住民で行うのは困難であるため、その場合は市で対応したいと考えている。

【その他の質問】

九州北部豪雨の被害を教訓としたハザードマップ見直し等の対応、歩車道境界ブロックが設置された市道に対する道路ボランティア制度の創設、歩車分離のカラー舗装



嶋村 信之
議員

(一問一答方式)

「人」と「心」を育むまちづくりについて

障害のある幼児児童生徒の個別指導計画の作成について問う。

山本教育長 特別支援教育において、幼児児童生徒一人一人の障害の状態、心身の発達の段階等により、学習や生活の上での困難さが異なることから、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫が必要である。

障害のある児童生徒に対しては、各学校に設置している特別支援委員会において、障害の種類や程度等を十分に理解して、一人一人に応じた様々な手立てを検討し、従来から個別の指導計画を作成し指導している。なお、幼児については、個別の指導計画を作成するよう検討しているところである。今後、評価・改善を図りながら指導に努める。

教員の負担軽減のためのスクールサポートスタッフの導入について問う。

山本教育長 教員の負担軽減を図るため、事務を代行するスクールサポートスタッフは県が配置先を決定する予定であり、県へ強く要望していく。

児童生徒が学習活動や読書活動ができるための新砺波図書館との連携について問う。

山本教育長 新砺波図書館との連携については、従来の出前図書館の充実に加え、新図書館の事務室内に学校図書館支援スペースが設けられることから、学校司書同士や学校司書と図書館司書との情報交換や自主研修の場として、積極的に利用することで連携を図っていきたい。



学校図書館



山田 順子
議員

(分割質問分割答弁方式)

花粉アレルギーにやさしい無花粉スギの植栽について

無花粉スギ(立山 森の輝き)への植え直しやスギ以外の常緑広葉樹の植栽支援について問う。

加藤商工農林部長 屋敷林の保全が喫緊の課題であることから、一昨年「散居景観を活かした地域づくり協定」締結地区に無花粉スギの苗木を配布した。今後も、協定締結地区の要望を取りまとめ、来年3月には無花粉スギに加え、広葉樹の苗木を配布するなど支援していきたい。

市総合防災訓練の成果と今後の課題・取組みについて

(新)砺波市防災デー実施に伴う参加者の反応及び子どもたちや若い人を巻き込んだ全員参加の呼びかけについて問う。

今井企画総務部長 市単独の訓練では過去最高の約1700人の参加のもと、従来に加え、多くの新たな訓練を行い総合的に実効性のある訓練が実施できたものと考えている。

今回、高校生にも参加を呼びかけ「帰宅困難者訓練」等を実施した。

過去には高校生の参加実績がなく、今後も、防災教育や防災意識高揚のため、子どもたちを含めた若い世代の参加を呼びかけていきたい。



女子高校生吹き出し訓練初体験

【その他の質問】(新)市民一斉シェイクアウト訓練の市民

の反応・結果と今後の推進、屋敷林を守る人たちへの枝打ち剪定枝処理の支援、屋敷林保全推進後継者の育成強化推進など



川辺 一彦
議員

(一問一答方式)

教育行政体制の充実について

教育委員会も新たな制度に移行したことで、市長部局と教育委員会は一層の連携強化が求められているが、行政組織の機構や部署配置についての考えを問う。

齊藤副市長 現在の教育委員会議務局は合併協議会での調整により庄川支所に位置しているが、平成27年4月からの地方教育行政改正法の施行により責任の明確化、危機管理体制の構築、首長との連携強化が求められることから、教育委員会事務局全体を本庁舎の敷地内に集約することが望ましいと考えている。

しかし、今後必要となる本庁舎の老朽化対策や耐震化対応、東別館にある一部事務所の代替場所や本庁舎の会議室不足などを整理しながら、庄川地区の皆さんや市民のご理解を頂きながら進めたいと考えている。

農業振興の充実について

散居村という独特な農村形態における農業の継続には、地域と環境保全に貢献する集落営農や兼業農家への支援も必要と考えるが、砺波型農業のあり方を問う。

夏野市長 集積率が県平均をはるかに超える70・5%の本市では、国の施策が担い手による農業経営の推進へ完全にシフトしていることや大型機械による効率的な農業への転換など、個人農家では農業を続けることが難しいと考えていることから、地域ぐるみで生産性の高い営農を行う集落営農組織を中心とした砺波型農業を展開していきたいと考えている。



独特な農村形態の散居村



大楠 匡子
議員

(一問一答方式)

がん検診の拡充について

「レディース検診」の増設・託児室の設置等、受診率を向上させる取組みについて問う。

齋藤福祉市民部長 「レディース検診」については、県のモデル事業として平成27年度に開始し3年目となる。大変好評なので、検診日の増設について検診委託機関とも協議し検討したい。

また、託児については、39歳以下検診において、現在もスタッフがお預かりしており、申し出があれば対応したい。

結核・肺がん検診については今年度からデジタル撮影となり検査精度の向上が図られた。それに伴い、結果の如何を問わず受診者全ての方に結果通知が送付できるようになった。

案内通知を一体型にしたことで、受診率の向上に繋がるものと期待している。

小学校の学校運営について

平成32年度からの学習指導要領の改訂により授業時数の確保が課題となるが、時間割編成の考え方、タイムスケジュールについて問う。

山本教育長 教える内容が増える一方で授業時数をどのように確保するかは、学校現場における大きな課題である。

時間割編成の基本的な考え方としては、学習内容を履修できる授業時数を確保することで、教わる側、教える側双方に無理のないよう計画したい。

授業時数増の対応については、45分授業のコマ数は増やさず、朝読書を行っている短時間を組み合せる方法について市単独で協議している。

来年度からの2年間の移行期間で、外国語活動を15単位時間増やし、その結果を踏まえ、平成32年度からの35単位時間増の対応と学習活動の支援策について検討したい。

【その他の質問】 砺波市空き家等対策計画など



桜野 孝也
議員

(分割質問分割答弁方式)

生活環境の充実について

毎年寄せられる各地区要望の実態と、要望に対する対応状況を公開することについて問う。

今井企画総務部長 地区及び地

域からの要望については、平成28年度に提出された要望書は11件、案件数は123件だった。いただいた要望は担当部署で内容を精査し、現地調査を早急に行うなど、できるだけ速やかに対応している。また、要望には国や県への要望も多数含まれており、市が所管しない案件でも市から重ねて関係機関に働きかけをしている。要望の実現が容易でない案件でも、地区の皆さんに十分説明させてもらっている。

なお、要望事項や対応状況をHPで公開するには、システムの構築や維持管理など、多くの時間と費用と労力が必要となるため、今のところ考えていない。

市街地における用排水路の老朽化対策について問う。

喜田建設水道部長 市街地にお

ける用排水路については、国や県の補助が得られないため、市では、平成22年度に「道水路等維持修繕事業」を創設し、原材料費、建設機械等の借上料及び損害保険料を、実施主体である自治会などの団体に交付し、住民の皆さん自らの手で、軽微な修繕を行っていた。この支援により、昨年度末までに、全体で30件余りの改修工事等への活用があった。今後、施設の老朽化が見込まれることから、抜本的な修繕改修支援策について、関係機関とも協議し、必要な対策を検討したい。



老朽化が見込まれる用排水路

【その他の質問】 市道の除草と街路樹の剪定



島崎 清孝
議員

(一問一答方式)

富山県地域医療構想を踏まえた本市の取組みについて

地域医療構想で明らかとなった本市の課題について問う。

夏野市長 本年3月に県が策定

した富山県地域医療構想は、団塊の世代が後期高齢者に達する平成37年に向け、県下二次医療圏ごとに課題や施策の方向性を示したものである。

平成37年の必要病床数の推計では、高度急性期及び回復期機能の病床が不足すると見込んでいる。在宅医療では、訪問看護ステーションの数が少ないことや、医療従事者の確保・養成等の取り組みが必要であり、併せて限られた医療資源のなかにあっても良質で幅広いサービスができるよう、多職種間連携によるチーム医療の推進が重要と考

砺波総合病院の

経営改革について

DPC(包括医療費支払い制度)対象病院間での砺波総合病院の立ち位置を問う。

愛場病院事務局長 医療機関群

の種類は、「I群」から「III群」まであり、「I群」は大学病院本院、「II群」は高機能な病院とされており、県下では、富山県立中央病院が対象となっている。当院は「III群」に属しており、この「DPC病院III群」対象病院間での機能評価係数IIの順位については、全国1400余りの病院中、平成27年度が309位、平成28年度は154位、平成29年度は123位と、機能評価係数IIの数値と共に順調に上昇している。



多職種間連携によるチーム医療の推進



境 欣吾
議員

(分割質問分割答弁方式)

国保税の負担軽減について

国保の所得に対する保険料の割合は、他の医療保険に比べてずば抜けて高いので軽減を図るべき。現在1万5千円の葬祭費を他市並みに。子供にかかる均等割の免除を。

夏野市長 国保は公的医療制度だが社会が全てを支える制度ではない。加入者の相互扶助で成り立つ共助の保険制度であり、その上で低所得者に配慮した支援などがすでに行われているため、これ以上の公費負担は慎重に行うべき。葬祭費は来年から県内どこでも3万円になる。

子育て世帯の支援制度は全国知事会、市長会でも提言、県単位化の際にも議論されるものと考ええる。



職員の時間外労働について

総合病院及び砺波市それぞれにおける時間外労働を正しく把握する仕組み及び適正な人員配置について問う。

愛媛病院事務局長 管理職・職員相互に役割と責務を明確にして周知徹底を図る。パソコンの記録などと申告に違いがあれば調査する。

毎年各所属のヒアリングで業務量と必要人員の把握を行っている。医師については行政と病院が協力して医師確保に努めている。

今井企画総務部長 管理職は、厚労省のガイドラインに基づき時間外労働の把握に努める。パソコンなどの記録との違いがあれば調査している。入退庁記録簿への記入時間を早めた。

各課の業務量を的確に把握し必要な人材を適材適所に配置する。

【その他の質問】核兵器禁止条約批准の国への働きかけ

定例会 9月定例会 提出議案

【予算】

- 平成29年度砺波市一般会計補正予算(第2号)
- 平成29年度砺波市病院事業会計補正予算(第1号)

〈以上、全会一致可決〉

【条例】

- 砺波市都市公園条例の一部改正について
- 砺波市道路法に基づく案内標識等の寸法を定める条例の一部改正について

〈以上、全会一致可決〉

【決算】

- 平成28年度砺波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 平成28年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定について

〈以上、継続審査〉

【人事】

- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

〈適任〉

大谷 幸毅氏 鈴木 誠一氏

【議員提出議案】

- 砺波市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

〈全会一致可決〉

- 新富山県総合計画における地域区分等に関する意見書の提出について

〈全会一致可決〉

- 道路整備予算の総額確保と道路財源に特法に係る補助率の向上措置の継続を求める意見書の提出について

〈多数可決〉

- 主要農作物の種子生産に係る富山県の中心的な役割の継続を求める意見書の提出について

〈全会一致可決〉

- 富山県南方戦没者沖縄慰霊塔「立山の塔」の慰霊行事期間 11月7日～9日派遣議員 大楠 匡子

〈参考〉提出先 富山県知事

【決算特別委員会】

- 委員長 山本 善郎
- 副委員長 山田 順子
- 委員 境 欣吾
- 委員 山森 文夫
- 委員 武夫
- 委員 桜野 孝也
- 委員 嶋村 信之

【議員の派遣】

- 富山県南方戦没者沖縄慰霊塔「立山の塔」の慰霊行事期間 11月7日～9日派遣議員 大楠 匡子

〈参考〉提出先 富山県知事

大谷 幸毅氏 鈴木 誠一氏

常任委員会 報告

主な質疑・意見・要望事項

産業建設常任委員会

(9月13日)

がんばる女性起業発展支援事業費補助金の目的と効果について問う。

増額補正の百万円は、農家レストラン大門が年間を通して地場産野菜を活用した伝承料理やオリジナル料理の提供、加工技術等の研究のため、食材保存用のプレハブの冷凍冷蔵庫の導入に充てる。これにより、株主の方などから提供される地場産野菜を新鮮なまま保存でき、お客様に地場産野菜の美味しい食材を提供できるようになる。

多面的機能支払交付金の手続きの簡素化や未実施の地区への取組み啓発について問う。

平成23年度から2件減少したのは、煩雑な手続きを担当する方がいないためであったが、現在、口座の一本化や、全ての活動での事業費繰越しが認められ、書類様式が統一されたことから、手続き面では簡素化されている。

未実施の地区へは、今年度末までに意向調査を実施し啓発に努め、引き続きホームページなどで周知したい。

種田地区の除雪センター新築事業費について問う。

民生病院常任委員会

(9月14日)

社会保障・税番号制度に係る住基システムの改修による新システムの稼働時期とサービス内容について問う。

全国的に行われる社会保障・税番号制度に係る住基システムの改修は、今年度中に実施され平成30年度中の稼働を予定している。

国の法整備はこれからであるが、希望する者にマイナンバーカードや住民票等への旧

姓併記が可能となり、転出

証明書に

も旧姓併

記がされ

ることと

なってい

る。

また、

複数の旧

姓を持つ

方は本人

の申出に

より選択

が可能で

ある。



総務文教常任委員会

(9月15日)

社会保障・税番号制度に係るシステム整備費の概要、制度導入の効果について問う。

本年7月18日より社会保障・税番号(いわゆるマイナンバー)制度を使用した国や自治体間の情報連携が試行運用されている。社会保障関連の生活保護システム他4つのシステムについて、国の仕様変更に伴う改修及び総合運用テストの実施経費を追加補正するもので、来年3月末までに総合運用テストを完了したい。

これまで、児童扶養手当の支給申請など各種申請の際には、住民票や所得証明書等の添付書類の提出が必要であったが、情報連携により、これらの添付書類の省略が可能となり、市民の負担を軽減し利便性を向上させると共に、給付の適正化が図られるものである。

消防団活動備品費について問う。

消防団員等公務災害補償等共済基金から消防団員安全装備品整備等助成事業の助成決定を受けたことから、活動備品として「耐切創性手袋(185双)」を購入する。これにより、充足率は69%となるが、分団員の安全確保のためにも引き続き充足率100%を目指したい。また、

民生病院常任委員会 行政視察報告

(8月16日～18日)

●熱海市役所（静岡県）

湯治湯として発展した熱海市は、高齢化率45.5%（静岡県1位）、合計特殊出生率1.22（静岡県で最下位）、転入者は高齢層、転出者は若年層で、就業者の80%以上がサービス業という特徴があり、他県・他市からは「老後の人生の終着駅」的な思いで移住する高齢者が増加している。このような人口構造から、生活習慣病対策や介護予防対策の推進が喫緊の課題として、市民健診、健康相談、健康教育、訪問指導、健康づくり事業等に積極的な取組を実施されていた。



●掛川市議会（静岡県）

掛川市健康医療基本条例は「中東遠総合医療センター」の開院により、新病院の支援と新病院を中心とした「健康医療日本一のまちづくり」を目指し、地域医療の充実を図ることを目的として策定された。議会としては特別委員会の設置、医師会との調整、議会報告会による市民との意見交換、各種団体からの意見公募など、議会基本条例に沿った活動をされ、議会提出により平成28年2月定例会で可決し、議会改革の取組にも先進的に活動されていた。

●掛川市・袋井市病院企業団中東遠総合医療センター（静岡県）

中東遠医療圏（5市1町）圏域人口約46万4千人、うち掛川市約11万5千人、袋井市約8万6千人。



中東遠総合医療センターは、老朽化した掛川市と袋井市の市立病院の再編事業による企業団病院であった。企業団の所属は医療センターだけであり、再編された掛川市と袋井市の市立病院は、それぞれ一般病院の経営に委ねられていた。しかし、連携状況は良好で、医療センターの紹介率75%、逆紹介率は86.9%であった。砺波医療圏もこの様な再編が必要であると強く感じた。

●富士宮市役所（静岡県）

富士宮市の福祉相談支援体制は、地域包括支援センターと福祉相談センター（サブセンター）を11生活圏域全域に配置し、自助と互助からの相談を共助と公助が受理する、総合相談支援システムが整備されており、それを支える権利擁護広域ネットワークや支援が必要な人に、関わる人・専門職・機関のネットワーク（産・学・官・民・他）の地域包括ケアシステムが構築されていた。

砺波市都市公園条例の一部改正における無人飛行機の制限内容について問う。

今回は、除雪車を格納する除雪センターの整備のみで、除雪車は来年度の予算要求で貸与とする1台を整備する予定である。当面の除雪体制は、従来の業者委託との併用も考慮しながら対応したい。

不特定多数の人が利用する公園において、落下などの危険性があり規制するものである。ただし、災害や測量、チューリップフェアの宣伝用映像など業務として使用される場合は、事前に申請され、市長が認めたものに限り使用を許可する。

病院看護師の時間外勤務手当における申請方法で、労働基準監督署の指導前と指導後の対応状況について問う。

この度の時間外勤務手当未払いが発生した原因は、時間外勤務の終了時間を看護師が個々に申告していたもので、管理職による確認が十分ではなく、申告と実際の勤務時間に相違が見られたため、監督署の指導を受けることとなった。

指導後は、看護師個人が申告した終了時間を管理職から指示を受けた次の時間帯の勤務者が確認し、翌日、その内容を所属長が確認して、決裁することに改められている。

今後は、医療職員の労働条件に適合した時間管理に万全を尽くす。

野球場スコアボード修繕費及び総合運動公園電話設備更新工事費について問う。

7月14日の落雷により、総合運動公園の体育施設の電気系統に故障が発生したことから、修繕に係る所要額を補正するものである。また、総合運動公園施設の砺波市温水プールに設置してある電話交換機が経年等により故障したため、電話設備更新工事費を追加補正するものである。

各分団への備品等の支給については、在庫過剰等が発生しないよう、原則、各分団の要望に応じて支給することに改める。

議会活動報告（7月～9月）

※議会改革特別委員会の活動内容については、P2に記載しています。

- 7月10日 産業建設常任委員会委員協議会
14日 総務文教常任委員会委員協議会
18日 観光振興対策特別委員会委員協議会
21日 全員協議会
- 8月 1日 民生病院常任委員会委員協議会
地域医療対策特別委員会委員協議会
2日 移住定住・人口減少対策特別委員会委員協議会
9日 南砺市議会との議員研修会
16日 民生病院常任委員会行政視察（～18日）
23日 全員協議会
25日 議会運営委員会
29日 議案説明会
産業建設常任委員会委員協議会
31日 総務文教常任委員会委員協議会
民生病院常任委員会委員協議会
- 9月 1日 議場におけるシェイクアウト訓練
議会運営委員会、全員協議会
産業建設常任委員会委員協議会
7日 地域医療対策特別委員会委員協議会
12日 決算特別委員会、議会運営委員会
広報広聴特別委員会
22日 広報広聴特別委員会
25日 決算特別委員会（～28日）
29日 南砺市議会広報広聴特別委員会との意見交換会

12月砺波市議会 定例会の日程（予定）

- 12月 1日(金) 本会議、全員協議会
11日(月) 代表質問、一般質問
12日(火) 一般質問
13日(水) 産業建設常任委員会
14日(木) 民生病院常任委員会
15日(金) 総務文教常任委員会
19日(火) 議会全員協議会、本会議

7.10 産業建設常任委員会 委員協議会

「Aとなみ野「たまねぎ集出荷貯蔵施設」を視察



7.14 総務文教常任委員会 委員協議会

市内の災害危険箇所及び防災備蓄保管庫を視察

8.1 民生病院常任委員会 委員協議会

市内社会福祉施設（麦秋苑、福祉作業所、油田、南天桐）を視察。



あとがき

今年の夏は、不安定な天候が続き、全国各地で豪雨による洪水や土砂災害が頻繁に発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

東京では8月に21日間連続で雨となり、8月25日には市内庄川町付近で1時間に100ミリの猛烈な雨が降り、「記録的短時間大雨情報」が発表されました。また、農作物については、日射量が平年より少なかったことから、作柄が心配されます。

市では、8月20日市総合防災訓練の実施日を市防災デーと位置付けて市民一斉シェイクアウト訓練が実施されました。この訓練は、更なる防災力の向上と防災意識の高揚を図る大切な機会であったと思います。

市議会としましても、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に、今後より一層努力してまいりますので、市民の皆さまからの忌憚のないご意見等をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

砺波市議会広報広聴特別委員会一同